

# オリジナルな額縁を作ろう！

H29.11.05 ふたば会 水島講座

Wordに標準装備されている「図形のクイックスタイル」を適用すれば簡単にフレームを設定する事が出来ますが、「トリミング」と「図の効果」機能を使って、一枚の写真を装飾的な額縁に収めた一幅の絵画風に編集する事が出来ます。ここでは、その作成手順を紹介します。尚、この手順書はWord2013で作成しています。

## <重点操作>

- ☆図のトリミング
- ☆図の塗りつぶし
- ☆面取り

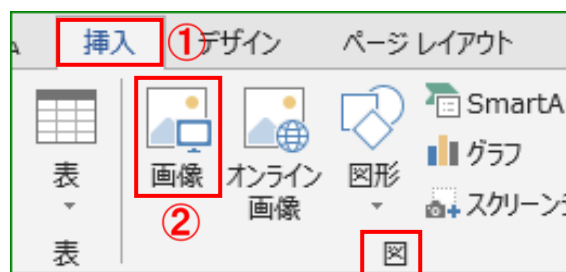
## <準備>

- すぐに写真が挿入出来る様に、各自お好みの写真をデスクトップに保存して置きます。この手順書では、パソコンにあるサンプル写真(toudai.jpg)を使用します。以後、写真(toudai.jpg)を「灯台」と呼ぶ事にします。
- ワードを起動して、新規文書を開きます。
- 配置したい位置をクリックすれば、その位置に画像が挿入できる様に1頁の先頭行から3頁中段辺りまで[Enter]キーを連続して押して改行します。

## 1. 額縁設定用画像「灯台」の挿入と編集

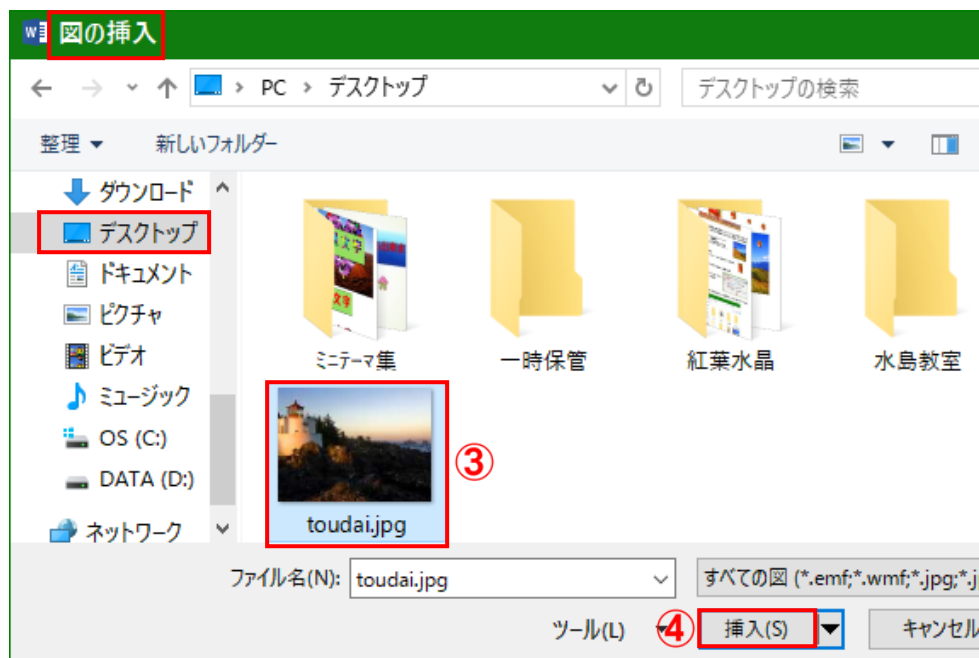
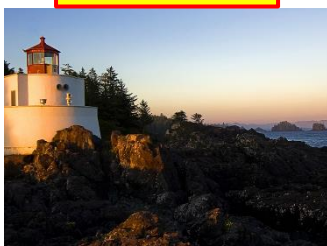
オリジナルな額縁を設定する画像を挿入します。

- (1) [挿入]①タブをクリックして、[図]グループにある [画像] (2010は[図])②をクリックします。



- (2) [図の挿入]画面の デスクトップをクリックして、予め保存している「toudai.jpg」③を選択、クリック→[挿入]④をクリックします。

挿入した灯台

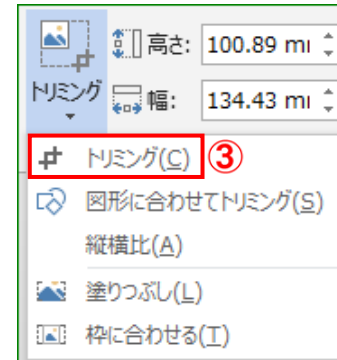
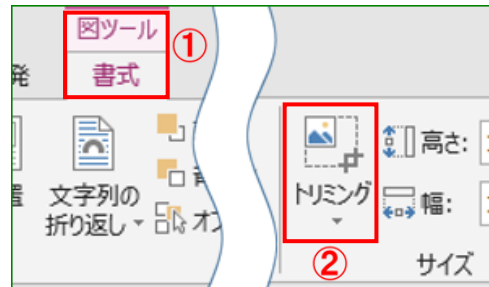


## 2. 「灯台」に額縁用スペースを設定します。

トリミング機能を使って、挿入した写真より大きくトリミングして額縁用スペースを設けます。

(1) 「灯台」をクリックして、[図ツール-書式] ①をクリック→[サイズ]グループにある[トリミング]▼ ②をクリックします。

(2) サブメニューの中から、[トリミング] ③をクリックします。



(3) 右図の様に4辺と四隅にトリミングハンドルが表示されます。右下四隅をポイントするとカーソルポイントが『』に変わります。そこで「Ctrl」キーを押しながら、右斜め下にドラッグします。



(4) 「灯台」画像の周囲に約5mm位のスペースが出来たら、ドラッグしている手を離します。

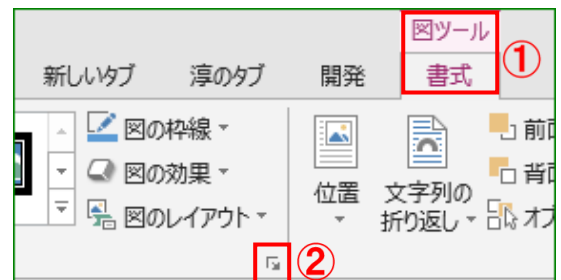
(5) 再度、「灯台」をクリックすると、右図の様に周囲にスペース(白色で見難いので赤色にしています)が設定されます。



## 3. 額縁部分を色付けします。

図の書式設定の塗りつぶし機能を使って額縁スペース部分を色付けします。ここでは[パターン]と、[テクスチャ]の塗りつぶし機能を使う方法を紹介します。

(1) 「灯台」をクリックして[図ツール-書式] ①をクリック→[ダイアログボックス起動ツール] ②をクリックします。



(2) [図の書式設定]画面の[塗りつぶしと線] ③をクリックします。




## <例1> パターン(市松模様)による塗りつぶし

(1) [塗りつぶし(パターン)]のオプションボタンを  ④ クリックします。

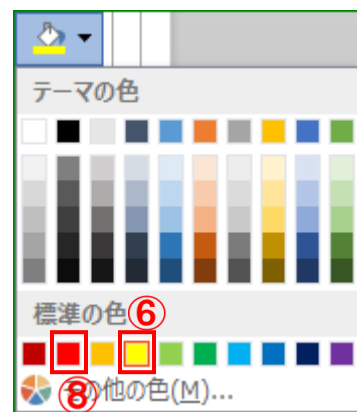
### 塗りつぶし

- 塗りつぶしなし(N)
- 塗りつぶし(単色)(S)
- 塗りつぶし(グラデーション)(G)
- 塗りつぶし(図またはテクスチャ)(P)
- 塗りつぶし(パターン)(A) ④

(2) 表示されたパターン一覧の中の[前景]  ⑤ をクリック→「カラーパレット」の[標準の色]から[黄] ⑥ をクリックします。

(3) 同様に[背景]  ⑦ をクリック→「カラーパレット」の[標準の色]から[赤] ⑧ をクリックします。

(4) [パターン]一覧の中から[市松模様(小)] ⑨ をクリックします。



市松模様を設定した額縁




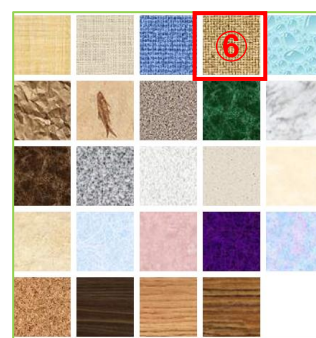
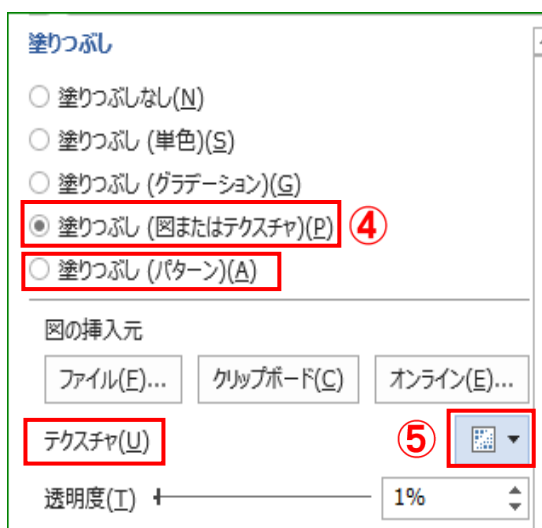
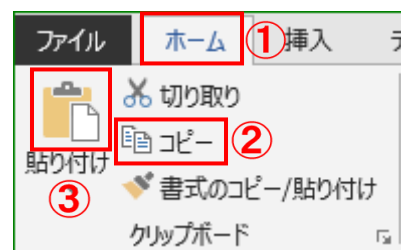
## <例2> テクスチャ(麻)による塗りつぶし

(1) 例1で作成した「灯台」を選択して、[ホーム]タブ①をクリック→  
[クリップボード]グループにある[コピー]②をクリックします。

(2) 例1で作成した「灯台」の2～3行下をクリックして、[貼り付け]  
③をクリックします。貼り付けした「灯台」はテクスチャによる塗  
りつぶし用に使います。

(3) [塗りつぶし(図又はテクスチャ)]のオプションボタンを○④をクリックします。

(4) [テクスチャ]項目の  ⑤をクリック→表示された一覧の中から、好みの「テクスチャ」(こ  
こでは「麻」)⑥を選択、クリックします。



テクスチャ(麻)を設定した額縁



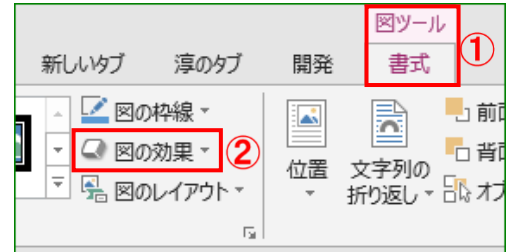
#### 4. 立体感ある額縁の設定

「図の効果」にある「面取り」機能を使って、立体感のある額縁を作成します。ここでは、パターンを設定した「灯台」を2枚コピー&貼り付けして、使用します。

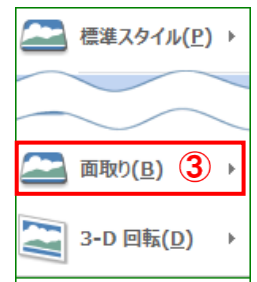
(1) 市松模様を設定した「灯台」を以下の要領で2枚貼り付けします。

2ページの2行目辺りをクリック→[クリップボード]にある[貼り付け]をクリックして1枚目を貼り付けします。続けて今、貼り付けした「灯台」の2行下辺りをクリック→[貼り付け]をクリックして2枚目の「灯台」を貼り付けます。

(2) 貼り付けした1枚目の「灯台」を選択して、[図ツール-書式]①をクリック→[図のスタイル]グループにある[図の効果]▼②をクリックします。



(3) サブメニューの中から、[面取り]▶③をクリックして、[面取り]項目の[額縁風]④をクリックします。



額縁風を設定



額縁風

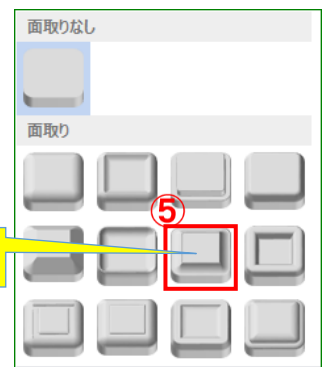


(3) 2枚目の「灯台」を選択して、同様に[面取り]項目の[浮き上がり]⑤をクリックします。

浮き上がりを設定



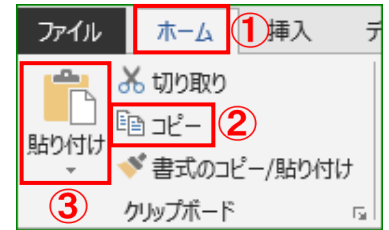
浮き上がり



## 5. オリジナルな額縁を設定した画像の保存

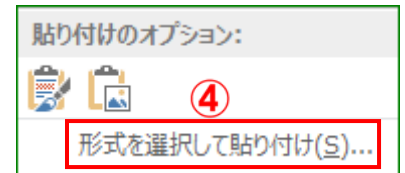
Word上で編集、加工等を施した画像を保存する場合は、一旦、図として貼り付けしないと編集後の状態を維持したまま保存する事は出来ません。よって、ここではその為の編集をします。最後に設定した「浮き上がり」を例に説明します。

(1) 「浮き上がり」を設定した画像を選択して、[ホーム]タブ①をクリック→[コピー]②をクリックします。

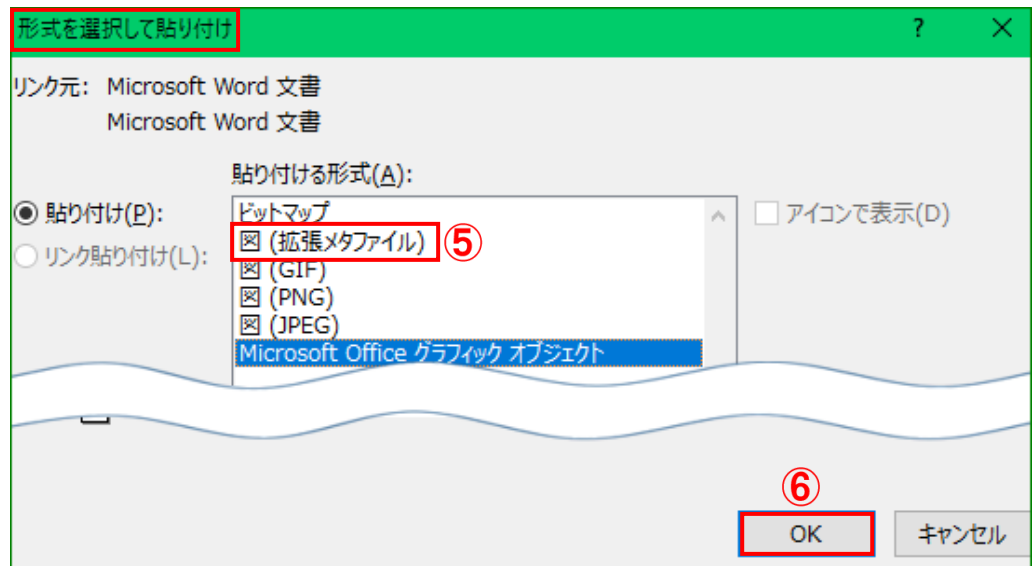


(2) 3頁2行目辺りをクリックして、[貼り付け]▼③をクリックします。

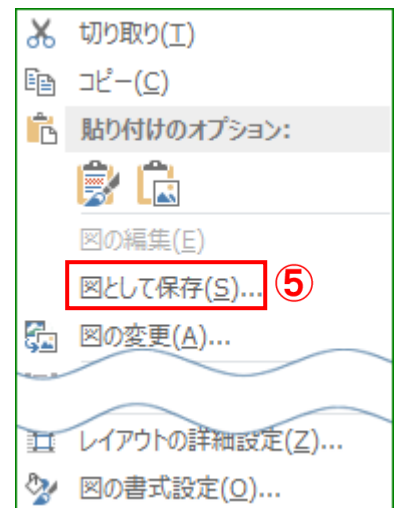
(3) [貼り付けのオプション]の[形式を選択して貼り付け]④をクリックします。



(4) [形式を選択して貼り付け]画面の[図(拡張メタファイル)]⑤を選択、クリックして[OK]⑥をクリックします。



(5) 貼り付けしたの図の上で右クリックして、メニューの中から[図として保存]⑤を選択、クリックします。



(6) [名前を付けて保存]画面で[保存場所;デスクトップ]⑤に、[ファイル名;額縁付き画像]⑥(お好みで)と入力し、[ファイルの種類;JPEGファイルインターチェンジ形式]⑦を選択して[保存]⑧をクリックします。

